

三省堂『高等学校国語総合 古典編』（国総306）評価規準例資料

学習のねらい	音読することによって古典の言葉のリズムを感じ取る。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	古典の響き	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	音読することで、美しい言葉の響きを味わおうとする。	繰り返し音読することで、言葉の響きを味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの作品が描いているテーマを読み取る。	それぞれの作品が描いている情景や心情を読み取っている。	行動の分析
知識・理解	歴史的仮名遣いが現代仮名遣いと異なることを理解する。	表記と読みとに違いがあることを理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文学的な文章を，文章の種類や類型，書きぶりの違いなどを踏まえて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいく。	文学的な文章を，文章の種類や類型，書きぶりの違いなどを踏まえて読んでいく。	行動の分析
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き，伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	行動の観察

学習のねらい	歴史的仮名遣いや古文の語彙・文法の基本を学ぶとともに、描かれた人間像や和歌をめぐるやりとりを理解し、古文の世界に親しむ。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	古文入門	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとする。	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取る。	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	歴史的仮名遣いと用言について理解する。	歴史的仮名遣いと用言について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言による評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	記述の点検

学習のねらい	物語の展開を，語句や表現に即して理解するとともに，当時の習俗について学ぶ。		
言語活動	文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	竹取物語	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとする。	語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	語句や表現に即して物語の展開を読み取る。	語句や表現に即して物語の展開を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な助動詞について理解する。	基本的な助動詞について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	記述の点検

学習のねらい	登場人物の心理を、状況や行動に即して理解し、歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を学ぶ。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	伊勢物語	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解しようとする。	登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解する。	登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	歌物語の特徴について理解する。	歌物語の特徴について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、作品一つ一つに表れている個性と価値に気付いている。	記述の点検

学習のねらい	筆者の人間観や自然観，美意識などを読み取り，その特色を理解するとともに，自分自身の考え方を深め，視野を広げる。		
言語活動	文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	徒然草	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察
読む能力	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方を深める。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方を深めている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な助詞について理解する。	基本的な助詞について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて要約しようとする。	目的に応じて，文章全体をまとめようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて要約している。	目的に応じて，文章全体をまとめている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	記述の点検

学習のねらい	文学的意義を知り、表現の特色を学ぶとともに、当時の制度、風習や旅の様子、作者の心情を理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	土佐日記	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解しようとする。	表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解する。	表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	作品の文学的意義を理解する。	作品の文学的意義を理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。	文章の構成や展開を確かめ、情景や心情が効果的に表現できているかどうかを考察しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。	文章の構成や展開を確かめ、情景や心情が効果的に表現できているかどうかを考察している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、作品一つ一つに表れている個性と価値に気付いている。	記述の点検

学習のねらい	朗読を通して語り物としての魅力を感じ、軍記物語の特徴を知るとともに、生死に直面した人間の行動を通して、人間とは何かを考える。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	平家物語	担当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとする。	朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深める。	朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	敬語の基本について理解する。	敬語の基本について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文学的な文章を，表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	文学的な文章を，表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	記述の点検

学習のねらい	和歌の基本を学び、その表現の特色や時代による変遷を知る。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとする。	和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解する。	和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	和歌の特徴と表現技法について理解する。	和歌の特徴と表現技法について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	記述の点検

学習のねらい	筆者の旅への思いや、旅先でのさまざまな体験や感動を読み味わうとともに、俳句・俳文について基本的なことがらを理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	奥の細道	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わおうとする。	筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わう。	筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わっている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	俳句の基本について理解する。	俳句の基本について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	記述の点検

学習のねらい	論を展開に即して理解した上で分かりやすく説明するとともに、俳論について理解する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	三冊子	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論理的な内容を理解し、分かりやすく説明しようとする。	論理的な内容を理解し、分かりやすく説明しようとしている。	行動の観察
読む能力	論理的な内容を理解し、分かりやすく説明する。	論理的な内容を理解し、分かりやすく説明している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	俳論について理解する。	俳論について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	目的に応じて、分かりやすく説明しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述している。	目的に応じて、分かりやすく説明している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、作品一つ一つに表れている個性と価値に気付いている。	記述の点検

学習のねらい	筆者の主張を理解した上で分かりやすく説明するとともに、文学史的なことがらについて理解する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	うひ山ぶみ	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の主張を読み取り、それを分かりやすく説明しようとする。	筆者の主張を読み取り、それを分かりやすく説明しようとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の主張を読み取り、それを分かりやすく説明する。	筆者の主張を読み取り、それを分かりやすく説明している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	筆者に関する文学史的なことがらについて理解する。	筆者に関する文学史的なことがらについて理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	目的に応じて、分かりやすく説明しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述している。	目的に応じて、分かりやすく説明している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、作品一つ一つに表れている個性と価値に気付いている。	記述の点検

学習のねらい	伊勢物語「筒井筒」と能「井筒」を比較しつつ読み、作品を多角的にとらえるとともに、能について基本的なことがらを理解する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	井筒	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと 才 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	伊勢物語と比較しつつ読むことで、作品を多角的にとらえようとする。	伊勢物語と比較しつつ読むことで、作品を多角的にとらえようとしている。	行動の観察
読む能力	伊勢物語と比較しつつ読むことで、作品を多角的にとらえる。	伊勢物語と比較しつつ読むことで、作品を多角的にとらえている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	能の基本について理解する。	能の基本について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	幅広い形態、内容、分野の本や文章を読み、情報を得ようとしている。	行動の観察
読む能力	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	幅広い形態、内容、分野の本や文章を読み、情報を得ている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	記述の点検

学習のねらい	鑑賞文を通して能「井筒」への理解を深めるとともに、我が国の文化についての自分なりの考えを育てる。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	人待つ女ー井筒ー	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと 才 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	鑑賞文を踏まえて自身の鑑賞を深め、我が国の文化について自分なりに考えようとする。	鑑賞文を踏まえて自身の鑑賞を深め、我が国の文化について自分なりに考えようとしている。	行動の観察
読む能力	鑑賞文を踏まえて自身の鑑賞を深め、我が国の文化について自分なりに考える。	鑑賞文を踏まえて自身の鑑賞を深め、我が国の文化について自分なりに考えている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	能と古典の関係について理解する。	能と古典の関係について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	様々な本や文章を読み、人間、社会、自然などについて、自分なりの考えを形成しようとしている。	行動の観察
読む能力	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	様々な本や文章を読み、人間、社会、自然などについて、自分なりの考えを形成している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	記述の点検

学習のねらい	訓点の働きを理解し、漢文を訓読できるようにする。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	漢文入門	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとする。	漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	故事成語の意味を理解する。	用例としてあげられている故事成語の意味を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解する。	漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	我が国の言語文化は，中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。	記述の点検

学習のねらい	訓点の働きを理解し、漢文を訓読できるようにする。また、故事成語の意味を把握する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	故事成語 借虎威／蛇足／漁父之利／朝三暮四	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼうとする。	日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を正確に読み取る。	文章の内容を正確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	訓読のきまりや句法について知識を深める。	訓読のきまりや句法について知識を深めている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	漢文を読むことに役立つ，訓読のきまりを身に付けている。	記述の点検

学習のねらい	朗読の工夫をしながら、情景と作者の心情の融合した境地を味わう。併せて漢詩の構成などについて理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	漢詩	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	日本でも愛好されてきた漢詩の名作に関心をもって味わおうとする。	日本でも愛好されてきた漢詩の名作に関心をもって味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの詩の表現している内容・情感を理解する。	それぞれの詩の表現している内容・情感を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	絶句・律詩の基本的な決まりについて理解する。	絶句・律詩の基本的な決まりについて理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	読むことに必要な文の組立て（又は、文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方）について理解している。	記述の点検

学習のねらい	現代語訳しながらストーリーの展開を把握し、その過程で重要な句法を理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	史話 先従隗始／臥薪嘗胆／鶏鳴狗盗	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	著名な史話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。	著名な史話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを話の展開に沿って読み味わう。	文章に描かれた人物、情景、心情などを話の展開に沿って読み味わっている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	句法・語法を理解した上で、それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認する。	句法・語法を理解した上で、それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解する。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	孔子の言う「学」と「仁」とを理解し、これが孟子の「仁義」「学問」に展開した様相を把握する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	論語・孟子	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	孔子・孟子の主張の重要性について理解しようとする。	孔子・孟子の主張の重要性について理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら内容を的確に理解する。	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら内容を的確に理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	句法・語法を理解した上で、儒家の思想について要点を把握する。	句法・語法を理解した上で、儒家の思想について要点を把握している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取る。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解する。	我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。	記述の点検

学習のねらい	朗読に習熟し、巧みな比喩とその効用を味わいながら、筆者の意図を把握する。		
言語活動	文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。〔Cの(2)ア〕		
教材名	雑説	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	漢文の名文を読み味わおうとする関心・姿勢を持つとする。	漢文の名文を読み味わおうとする関心・姿勢を持つとしている。	行動の観察
読む能力	巧みな比喩による論理的な展開に注目しつつ、主張を理解する。	巧みな比喩による論理的な展開に注目しつつ、主張を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	句法・語法を理解した上で、韓愈の主張とその思想史上の位置について基本事項を把握する。	句法・語法を理解した上で、韓愈の主張とその思想史上の位置について基本事項を把握している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述する。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解する。	我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。	記述の点検

学習のねらい	桃源郷の状況と、そこに到達できる人間の条件とを理解する。		
言語活動	文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。〔Cの(2)ア〕		
教材名	桃花源記	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)イ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「桃源郷」という言葉の淵源としての話に関心を持つとする。	「桃源郷」という言葉の淵源としての話に関心を持つとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを話の展開に沿って読み味わう。	文章に描かれた人物、情景、心情などを話の展開に沿って読み味わっている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	句法・語法を理解した上で、背後にある思想について基本的な知識を得る。	句法・語法を理解した上で、背後にある思想について基本的な知識を得ている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述する。	人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解する。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	記述の点検